



リュウキュウサンショウクイと言えば、名前からして沖縄県方面の鳥っばい。そういえば冬は九州にも来るんだっけ。でも、まあ関西にいる限りは関係ないな。数年前まではそう思っていました。ところが、ここ数年、関西にどんどん進出してきました。そこで今回は、リュウキュウサンショウクイに注目してみます。テーマは、リュウキュウサンショウクイの分布拡大です。

### ●そもそも昔、リュウキュウサンショウクイは

山階 (1939) には、リュウキュウサンショウクイについてこう記述されています。「…西表島以北の琉球列島全体及び薩南諸島に広く分布し、(中略) 各島間を移動することもあると言う。鹿児島県下にも産し、鹿児島市付近にては冬季に普通である。但し夏季も留まって繁殖するかは否かは未だ明らかではない。」

日本鳥学会 (1974) のいわゆる「日本鳥類目録第5版」には、「琉球で繁殖し、ときに南九州に渡来する」と書かれています。

琉球列島で繁殖し、けっこう古くから、冬季には九州南部にも渡来していたようです。

### ●それが近頃のリュウキュウサンショウクイは

三上・植田 (2011) は、アンケート調査と文献調査に基づいて、九州以北の西日本におけるリュウキュウサンショウクイの生息状況をまとめています。それによると、1970年代には九州南部でのみ越冬していたリュウキュウサンショウクイは、1980年代には熊本県でも越冬が確認され、1990年代には福岡県や愛媛県でも冬季に記録されるようになりました。2000年代に入ると、広島県や山口県、高知県や香川県でも記録されています。2008年2月には奈良県での記録があります。

なぜかは分かりませんが、年々越冬域が北に東に拡大しています。

### ●そして今、リュウキュウサンショウクイは

リュウキュウサンショウクイの越冬域が広がっているといっても、大阪府ではどこか他人事のような感じでしたが、2015年度冬、事態が急展開します。

2016年2月になって、この冬、山でサンショウクイ類を見かけるという話を、何人もから耳にしました。亜種サンショウクイが越冬するという話はないので、越冬しているサンショウクイ類は、リュウキュウサンショウク

イと考えられます。なんと大阪府にまでリュウキュウサンショウクイの越冬域が拡大してきたのです。あわてて、冬のサンショウクイ類の記録を集めはじめました。その結果を表1に示します。なぜかは分かりませんが、兵庫県から大阪府の北摂、琵琶湖西岸と、ほぼ線上に点々と記録があります。

三上 (2016) によると、関西だけでなく、関東でも少し前からリュウキュウサンショウクイの記録が増え始め、2015年春には巣材を運んでいたという報告もあるそうです。越冬域を着々と広げているのみならず、繁殖域まで拡大しているのかもしれない。

表1. 2016年2月24日から3月10日に集まった関西のリュウキュウサンショウクイ情報. 冬季に観察されたサンショウクイは、すべてリュウキュウサンショウクイと仮定. 和田 (2016) より.

#### 【大阪府】

- ・池田市東山町、2016.1.28、2016.2.24 (1羽、エナガ群に混じる)
- ・箕面市：箕面公園、2016.1.10 (2羽)
- ・高槻市成合、2016.1.18 (1羽)、2016.2.18 (1羽)
- ・島本町：若山神社、2016.2.16 (1羽、エナガ群に混じる)、2016.2.18

#### 【兵庫県】

- ・姫路市：姫路市自然観察の森、2015.11.3、2015.12.6、2015.12.16、2015.12.24 (1羽)、2016.1.28、2016.3.1 (近くにエナガ)
- ・神戸市中央区：布引の滝、2016.1.7

#### 【滋賀県】

- ・高島市新旭町饗庭、2016.2.28

### ●野外で実際に観察してみよう

とにかく今、リュウキュウサンショウクイは分布を東に広げている真っ最中のようです。越冬だけでなく繁殖を始める可能性も含めて要注目。この分布拡大のプロセスを是非記録しておきたいと考えています。

リュウキュウサンショウクイと亜種サンショウクイの区別はしばしば難しいですが、幸い今のところ亜種サンショウクイは関西で越冬していません。冬に観察されるサンショウクイ類は、リュウキュウサンショウクイと決めつけて良さそう。というわけで、冬にサンショウクイ類を見かけたら、是非お知らせ下さい。

ちなみに表1にあるように、冬のリュウキュウサンショウクイはしばしばエナガの群れに混じるようです。山でエナガの群れを見かけたら、その周辺を探してみてください。

### ●引用文献

- 日本鳥学会 (1974) 日本鳥類目録. 学研, 東京.
- 三上かつら・植田睦之 (2011) 西日本におけるリュウキュウサンショウクイの分布拡大. Bird Research 7: A33-A44.
- 三上かつら (2016) リュウキュウサンショウクイ最前線2016. パードリサーチニュース2016年3月: 1.
- 山階芳麿 (1939) 日本の鳥類と其生態 第一巻. 梓書房, 東京.
- 和田 岳 (2016) 2015年度冬の大阪府周辺のリュウキュウサンショウクイ情報と、さらなる情報募集. 大阪鳥類研究グループ会報 (114): 6-7.

和田 岳 (わだ たけし): 本会幹事、大阪市立自然史博物館学芸員. HP「和田の鳥小屋」  
<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/wada/wada-index.html>



図1: リュウキュウサンショウクイ.  
(大阪城公園2011.4.18 杉田福松)